

こだま



写真：留萌市

Contents

- ① 認知症医療センターの指定について
- ② 石井病院認知症作業療法の紹介
- ③ 精神療養病棟復活
- ④ 非接触検温器 Ai 検温ソリューション
- ⑤ お知らせ

静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。

認知症医療センターの指定に 認知症医療センター長 白井

この4月に北海道より北海道認知症疾患医療センターの指定を受けました。簡単ではありますがご紹介させていただきます。

北海道の認知症疾患医療センターは国の「認知症施策推進大綱」に基づき地域の認知症に関する医療提供体制の中核として、かかりつけ医や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、地域の介護・医療資源等を有効に活用するためのネットワークづくりを進めるとともに、認知症の速やかな鑑別診断、診断後の本人・家族へのフォロー、症状増悪期の対応、BPSDや身体合併症に対する急性期医療、BPSD・せん妄予防等を行うために設置されました。既に当院を含めて8つに区分された連携地域に21の医療機関が指定されています。当院のエリアは日高町、平取町、新冠町、新ひだ



か町、浦河町、様似町、えりも町と日高地方全域に渡っています。

活動としては認知症疾患医療連携協議会を設置、「物忘れ外来」とかかりつけ医、サポート医とのネットワーク構築、地域包括支援センターと連携した介護サービスの円滑な提供などがあります。かかりつけ医の先生からの紹介をスムーズにしその結果を今後の治療や介護へフィードバックしていきます。

診断については当院の心理検査、CT検査に加えて総合病院浦河赤十字病院のご協力を得て脳血流検査(SPECT)も出来るようになります。また新ひだか町だけではなく日高地方の地域との連携を深め広く地域の認知症を取り巻く

状況の改善に地域とともに取り組んでいくことが出来ます。

新ひだか町は認知症初期集中支援チームをはじめ認知症対策は熱心で各事業所も頑張っています。

またまとまりも良く以前に町内であった講演会に来ていただいた先生に後日お会いしたら新ひだか町の講演会の盛況ぶりに驚かれました。

今までも当院は「物忘れ外来」をはじめとする認知症診断、日高地方唯一の入院病床を持つ精神科病院として地域の認知症医療に貢献してきました。しかし認知症疾患医療センターの指定を受けることによってもっと地域に貢献できるものと考えます。

担当するエリアも7つの町にわたっており、各町とあらためて連携づくりを始めなくてはいけません。また当院の人的資源も余裕があると言えません。軌道に乗せるには紆余曲折もあるかもしれませんが当院がレベルアップすることで更に地域に貢献できると考えます。皆様の応援やご指導をいただ

ければ嬉しいです。

石井病院認知症作業療法の紹介
2病棟作業療法主任 美馬 雅俊

認知症の症状には、大きく分けて2種類あります。中核症状と周辺症状(以下BPSD)と呼ばれるものです。中核症状は主に記憶障害や見当識障害等が現れますが、BPSDでは中核症状が原因で不穏や徘徊、抑うつ、異食等の症状となって現れます。

認知症のある方への作業療法は、主に後者であるBPSDを改善するた



めに介入していきます。患者様が「困っていること」「したいこと」「実際にできること」を確認していき、それを踏まえて「馴染みのある活動」や「好きな活動」、「軽い運動」などを取り入れたプログラムを行っています。

プログラムでは、主に集団で体操や歌、手工芸、軽スポーツ、頭の体操などを取り入れ、意欲の向上、自信の獲得や日常生活活動などの維持を図っています。集団で行うことで、「コミュニケーション

の場を設けて他者との交流を促したり、時間や場所、人物が解らなくなってしまう方たちのために現実見当識訓練を行っています。病棟にいると外出する機会がほとんどなくなるため、天気の良い日には散歩に出掛けたり、軽食を食べに行ったりします。集団に馴染めない方や、体調を崩し一時的に安静したために身体機能が低下した方に対しては、個別での対応も行ってまいります。

精神療養病棟の復活 看護部長 二間 悦晃

令和2年7月1日より、精神療養病棟が再開することとなりました。精神療養病棟では、比較的病状が安定した患者さまが療養生活を送りながら、個々に合わせた

ペースで退院に向けた準備や調整を行っていきます。また、精神一般病棟と同様、作業療法や、レクレーションにも力を入れ、充実した生活を送っていただけるようサポートいたします。

今後は、2階が「認知症治療病棟」、3階が「精神療養病棟」、4階が「精神一般病棟」、5階が「特殊疾患病棟」として運営していくわけですが、それぞれの特殊性を生かした機能別の病棟で、患者さまに一人一人に合わせた環境、サービスを提供させていただきます。

看護部の理念であります「いつもいっしょにいる」を忘れず、患者さまに寄り添い安心して治療や療養生活が送れますよう、そして患者さまが「日も早く体調が整い、再び自分らしい素晴らしい笑顔で、元の生活に戻ることができるよう」に、努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当院におきましても様々な感染予防に取り組んでおります。入院されている患

者さま、ご家族様、また、ご来院いただいたく皆様にはご不便をおかけしております。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

非接触検温器

Ai 検温ソリューションの導入 感染防御チーム 瀧瀬 尚輝

現在、世界中で新型コロナウイルスが大流行し、北海道内でも感染者は1300人を超えています。緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開されている中で再び感染者が増加しており、不安な日々が続いているのではな

いかと思えます。当院では感染対策として

玄関にスタッフ

フが待機し、マスク・エプロン・手袋を着用し、非接触型の体温計で検温を行ってきました。スタッフが交代制で正面玄関に待機し、検温を行



うということとスタッフへの感染のリスクの増大や、通常業務を行えないなどの問題がありました。

今回当院ではAi 検温ソリューション「Sense Thunder」を導入しました。

このAi 検温ソリューション「Sense Thunder」は非接触で

ありわずか0.5秒で体温を測定することができ



ます。Aiを用いた正確な体温を測定できるため、誤差±0.3℃で測定可能です。

体温が高いとブザーが鳴りますのでその際にはスタッフが対応させていただきます。

Ai 検温システムを導入したことによって、来院される方やスタッフの感染リスクの軽減やスタッフの負担の軽減に役立っていると思えます。



精神科外来・もの忘れ外来は一部を除き**予約制**となっております。

【精神科外来】

受付時間	月	火	水	木	金
午前 8:55~12:00	予約制 臼井哲郎	予約制 角田正直	予約制 臼井哲郎	予約制 林裕	予約制 田端秀行
午後 1:30~3:00	休診	予約制 林裕	予約制 田端秀行	休診	予約制 角田正直
【もの忘れ外来】					
午後 1:30~3:00	予約制 臼井哲郎				

【内科外来】

受付時間	月	火	水	木	金
午前 8:55~12:00	久保田昌宏	休診	休診	久保田昌宏	休診
午後 1:30~15:00	休診	久保田昌宏	休診	石井幸司	久保田昌宏

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の下記行事は中止といたしました。

- ・ 8月予定 仮装盆踊り花火大会
- ・ 10月予定 石井病院祭

編集／発行 令和2年8月5日発行
医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会
〒056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂町3丁目3-1
TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389
ホームページ: <http://www.ishii-hp.jp/> こだま発行責任者 高橋道晴

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大第二波ともいえる新たな感染者数の報告がされている毎日です。見えないウイルスの脅威に対し身も心も疲れていく生活が続きますが、新たな生活様式を習得していきながら予防の徹底に努める必要があります。精神的にも経済的にも辛く苦しい日々が続きますが、共に支え合いながら乗り越えましょう。

こだま担当 三浦秀紀